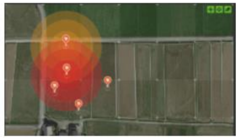
データ分析型　Agri Field Managerによる生産管理　水田作

①概要　株式会社オプティム

○　「Agri Field Manager」を自社開発し、そのソフトウエア上で「病害虫検知」「施肥診断」「ピンポイント散布・施肥」といった機能を追加、実装。
○ Agri Field Managerへ他社アプリ、ハードウエアを連動させ、一つのプラットフォームで多様なサービスをエンドユーザーへ提供することを目指す。

②サービス内容等


圃場マップ表示

画像データ管理

播種ドローン

【Agri Field Manager（AFM）】
○　ドローン等による撮影画像を経時的に記録・分析し、農業者の生産活動や農業関係者の営農指導に活用できるシステム。
○ AFM上に学習データ(AI)を蓄積させていく事で病害虫や施肥診断をAIにて自動判定させる事が可能。
○ AFMとスマートフォン向け専用アプリを連動させ、作業指導や作業スケジュール、水位センサー情報、病害予測等の作業レコメンド情報を発信予定。

【水稲用播種ドローン】
○　ドローンを活用した打ち込み方式の水稲湛水直播。

③支援実績等

【Agri Field Manager】
○　令和２年度「スマート農業実証プロジェクト」において、宮崎県内での取組にて採用。
○　佐賀県AI・IoT等技術活用可能性実証事業において、ＪＡさがにて実証。
○　2019年からβ版サービス開始、青森、福島、新潟、石川、兵庫、福岡、佐賀、長崎で活用されている。

【水稲用播種ドローン】
○　革新的技術開発・緊急展開事業（農林水産省H29補正予算）を活用したプロジェクトにおいて、石川県を中心に青森県、佐賀県で実証。

④課題・今後の展開等

○　空撮画像を基に経時的に見える化しているが、空撮作業を担う人材や経費が課題となっている。
○　作業レコメンドを発信するために各地域の有識者の知見、発信体制が必要となる。
○　Agri Field Managerを農業の基盤ソフトウェアとし、農家が自由に使えるサービスを目指す。

⑤連絡先等（事業者）

佐賀県佐賀市本庄1
0952－41－4277

佐賀県拠点（令和3年2月）作成